

厳しい勉強

勉強に関して少し書いておきたいと思います。渡米する前から、海外留学の経験がある先輩方にお話を伺っていたおりに、宿題の量が半端ないほどに課され、最初のうちでは、本当に自分は Survive 出来るのかどうか不安になりました。それに、Hope College は専門的な知識よりも一般教養や基本的なスキル（ライティング、リーディング、スピーキング）に力を入れていると聞いていたので、日本では想像がつかなかったほどに書いて、読んで、発言を求められました。

最初から高学年のクラスを取るのには控えようと心に決めていたので、100 番台を中心に履修したのにもかかわらず、課題が多かったと感じました。しかしながら、先ほど述べましたように、大学の周りには特にこれといって出かけるような所もなかったので、勉強に打ち込むことが出来ました。さらに、教授との距離がすごく近く感じたので、積極的にわからないところ、特に最初は自分を知ってもらおう意味でコンタクトをしていました。おかげで、学期末の成績もほぼ期待通りの結果になり、上手く過ごせたのではないかと自分なりに考えています。

また、1 学期という短期間にもかかわらず、ルームメイトを始めとするたくさんの仲間に出会うことができました。Hope には日本語のクラスもあるためか、日本に対して興味・関心を持っている人が大勢いました。週末になると、みんなで騒いだり、討論したり、映画を観に行ったり、日が経つにつれて絆が強くなっていったのを感じました。その結果、彼らと一緒に過ごした時間は、自分にとって何事にも代え難いものになりました。そのため、大学を離れる際は、彼らに対しての感謝の気持ちと共に、別れに対する悲しさで本当に辛かったです。彼らとはこれからも連絡を取って行きたいと思っています。



ルームメイトの Matt と

伊藤 直人

いとう なおと

早稲田大学社会科学部 3 年
ミシガン州 Hope College 留学中

千葉県出身。昨年8月より Hope College に在籍。
現在フィラデルフィアにてインターンシッププログラムを履修中。

インターンシップ

さて、Hope College を後にして、私が今学期（1 月～5 月）何を行っているかについて簡単に触れておきます。

現在、私は、Hope College を離れて Philadelphia にあるアパートで同じプログラムを履修している Ohio Wesleyan College の 2 人と

共同生活をしています。最初の 1 週間のうちに、私たちは自分たちの滞在先を探すところから始まるのですが、今まで 1 人暮らしをしたことがなかった私は、そんなこと本当にできるのかと半信半疑でした。しかし、首尾よくハウスメイトの友人が前期に同じプログラムを履修していたためにそれほど困ることなく、気が付いてみれば一番乗りで滞在先を見つけることが出来ました。

それよりも私が心配をしているのが、授業とインターンシップについてです。授業は MBA のクラスのように週に 1 回しかないので、その分、時間が 3 時間と長い上に、生徒が 3 年生以上なためにディスカッションの内容が物凄く深く掘り下げられた所まで進んでいきます。そのために、自分が授業についていけるかどうかについて不安が募りますが、今回の経験が後々に MBA などに行く際に役立つはずだと考えているので、しっかりやるしかないですね。

インターンシップは、この原稿を書いている時点では、準備段階で実際に始まってはいませんが、期待とともに不安が過っています。私は、法律に関心があるので、リーガルインターンを受けたいと考え、受け入れてくれる法律事務所を探して、インタビューを受けています。母国語の日本語でさえ、インターンシップを受けたら緊張することは容易に察しが付きますが、今回は英語なので、少し状況異なります。正直言って、他の学生に比べて不利な点は否めません。だからといって、気後れしている場合じゃないので、自分は、英語力を活かすよりも自分の考えに対して自信を持ってぶつけていこうと考えているところです。

まだまだ、新生活が始まったばかりで右も左もわからない状況ですが、必ず“Survive”して生活を送っていきたくて考えています。

(2007 年 1 月 30 日)

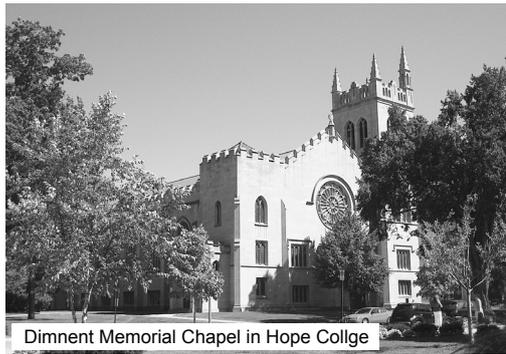


堀さんからバトンを渡された伊藤君の留学体験記の 1 回目です。帰国まで 3 回だけの連載ですが、引き受けてくれました。

伊藤君、出身地の千葉からミシガン州、さらにはフィラデルフィアでインターンにもチャレンジしています。勉強だけではなく生活面でも、初めての自炊生活など、多くの貴重な経験をしているようです。

伊藤君、クリスマス休暇を利用して、寒さの厳しいミシガンから太陽の光がまぶしいカリフォルニアの我が家に行ってきました。「アメリカは広いですね。」と驚きの体験を、また、将来の夢を静かに語ってくれました。

早稲田大学での私のクラスでは物静かな受講生でしたが、アメリカ人学生に負けずに、積極性を発揮しているようです。がんばれ！



Dimment Memorial Chapel in Hope College